

科目名	データマーケティング									
科目名(英)										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		藤本 清貴	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科2年									
授業概要	ドラッグストア・スーパーの実際のPOSデータを使用したデータ分析に基づく課題解決の提案を行う。なお、本授業は1年次に学習した販売士、Excel、データ分析の知識を総合的に活用し、進めていく。									
	iCDタスクコード		EX02.1.2、EX02.5.1、EX02.5.2、EX02.6.2							
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○	○			RESAS、ウレコン、DolphinEyeを使ってデータを収集することができる。				
	○	○	○			収集したデータをExcelを使って適切なグラフで表現し、必要な情報を読み取ることができる。				
	○	○	○			全体→部分、比較、変化に着目し、データから注目すべき数字を見つけることができる。				
	○	○				収集したデータから根拠のある仮説をたて、対策案を1つ以上挙げることができる。				
テキスト・教材 参考図書	データマーケター養成講座初級編テキスト									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1-2	オリエンテーション/ビッグデータとは/データ活用(RESAS)					RESASの操作に慣れておく			
	3-4	データ活用(ウレコン)								
	5-6	Excelハンズオン①(グラフの作成)/実習①(DolphinEye)								
	7-8	Excelハンズオン②(散布図と相関)/企画提案のための思考法								
	9-10	データ活用と各業界/POSデータ①②③					近隣のドラッグストアの売場調査(フィールドワーク)を行う			
	11-12	フィールドワークの発表準備・発表								
	13-14	フィールドワークの発表準備・発表								
	15-16	実習②③(年末の売場づくり提案)								
	17-18	マーケティング基礎①/ID-POSデータ分析①								
	19-20	ID-POSデータ分析②③								
	21-22	マーケティング基礎②/ID-POSデータ分析④								
	23-24	実習④(DolphinEyeのデータから仮説を立てる)/外部データの利用①								
	25-26	外部データの利用②/実習⑤(売出し時期の決定)								
	27-28	マーケティングの基礎③/課題発見と提案①								
	29-30	課題発見と提案②③								
評価方法	(1)Excelハンズオン課題 (2)プレゼンテーション (3)小テスト 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	課題提出		○	◎	○			40%		
	プレゼンテーション		○	◎		○		30%		
	小テスト		○	◎				30%		
履修上の注意	再試験は実施しない。									

科目名	ITサービスⅡ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	藤澤 昌聡	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	経営ビジネス科2年						
授業概要	新たなITサービスを構築するために必要な、技術的知識、ITサービストrendを理解する。 技術的知識に裏付けされた、時代のニーズにあった、新たなITサービスを企画する能力を養う。						
	iCDタスクコード		ST02.2.2				
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					最新IT技術の概要、将来性について説明できる	
		○				IT技術を駆使した新規事業の立案ができる	
		○	○			立案したITサービスを提案することができる(提案書・プレゼン)	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ITトレンド技術・サービス紹介、調査、立案①					
	2	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案②				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	3	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案③				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	4	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案④				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	5	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案⑤				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	6	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案⑥				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	7	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案⑦				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	8	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案⑧				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	9	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案⑨				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	10	ITトレンド技術・サービス説明、調査、立案⑩				前週に予告された技術・サービスについて調査	
	11	最終企画立案① デザイン思考					
	12	最終企画立案② デザイン思考					
	13	最終企画立案③ デザイン思考					
	14	最終企画立案④ デザイン思考					
	15	企画プレゼン					
評価方法	(1)課題提出を評価する (2)新規サービスの立案、発表内容を評価する (3)授業への参加状況(グループワーク時の発言)。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出		◎				60%
	立案・発表				◎		30%
	授業態度				○		10%
履修上の注意							

科目名	ビジネスアプリケーションⅡA									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		吉田 裕幸	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科2年									
授業概要	スライドマスターの編集、アニメーションや画面切り替え効果の適用・編集、スライドショーの設定、配布資料の作成など、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるスキルを身に付ける									
	iCDタスクコード									
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
		○				プレゼンテーションを作成し、スライドに書式設定ができる				
		○				表やグラフ、オブジェクトの挿入ができる				
		○				画面切り替えやアニメーションを設定できる				
テキスト・教材 参考図書	MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	PowerPoint基本操作、スライドの管理								
	2	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定								
	3	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定								
	4	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入								
	5	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入					スライドの書式設定を理解しておくこと			
	6	画面切り替えやアニメーションの適用								
	7	プレゼンテーションの管理					表、グラフの挿入ができるようにしておくこと			
	8	プレゼンテーションの管理								
	9	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	10	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	11	模擬試験実施 第1回から第5回解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	12	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	13	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	14	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					間違った問題の見直しをしておくこと			
	15	総復習					これまで習った機能を理解しておくこと			
評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習：単元ごとの確認問題を解答し提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	授業内評価テスト			◎				60%		
	確認テスト			○				20%		
	課題演習			○		○		20%		
履修上の注意										

科目名	プロモーション戦略Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		30時間		担当者		今泉　こず恵			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	経営ビジネス科2年											
授業概要	SNSによる口コミや、企業のオウンドメディアなど、インターネットを介した情報発信は、これまで互いに情報を共有・拡散することで成長してきました。しかし2017年末頃から、この流れに変化の兆しが現れています。時代に沿ったプロモーション戦略を学ぶ。											
	iCDタスクコード		CM01.2.1、CM01.2.2									
授業形態	講義：　　△		演習：		実習：　　○		実技：		※　主たる形態：○　　その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目　　標						
	○	○				自社の知名度を効果的に上げるためのブランド戦略を立てられる。						
	○	○				ターゲット市場に製品やサービスの価値が正しく理解されるメッセージをデザインできる。						
	○	○				プロモーション戦略の手法を組み合わせる事ができる。						
	○	○				時代に合った、プロモーション戦略ができる。						
テキスト・教材 参考図書	プリント											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	ブランディング①										
	2	ブランディング②戦略					前回授業内容を復習しておくこと。					
	3	ブランディング③時代背景・ペルソナ					前回授業内容を復習しておくこと。					
	4	ブランディング④デザイン案・グループワーク					前回授業内容を復習しておくこと。					
	5	ブランディング⑤デザイン案・メディア戦略					前回授業内容を復習しておくこと。					
	6	ブランディング⑥デザイン案					前回授業内容を復習しておくこと。					
	7	ブランドロゴ製作①					前回授業内容を復習しておくこと。					
	8	ブランドロゴ製作②					前回授業内容を復習しておくこと。					
	9	ブランドロゴ製作③					前回授業内容を復習しておくこと。					
	10	プロモーション戦略					前回授業内容を復習しておくこと。					
	11	企画書製作①					前回授業内容を復習しておくこと。					
	12	企画書製作②					前回授業内容を復習しておくこと。					
	13	プレゼンテーション①					前回授業内容を復習しておくこと。					
	14	プレゼンテーション②					前回授業内容を復習しておくこと。					
	15	まとめ					前回授業内容を復習しておくこと。					
評価方法	講義中のプレゼンテーション(発言回数による意欲含む)、レポート提出により評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	プレゼンテーション				◎				○			60%
	レポート提出				◎							40%
履修上の注意	再試験は実施しない。											

科目名	アカウンティングⅡ											
科目名(英)												
単位数	8単位		時間数		120時間		担当者		小林 憲一			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験		税理士事務所代表として税理士業に従事			
対象学科・学年	経営ビジネス科2年											
授業概要	経営管理に必要な会計の用語、財務諸表の構造・読み方・分析等、財務諸表を理解するための基礎的な力を学ぶ。具体的には基本財務諸表としての貸借対照表、損益計算書、およびキャッシュ・フロー計算書(いずれも個別)に記載されている項目と計算構造について学習する。その上で、企業が成長しているのか、債務等の支払い能力はどうか、もうける力はあるか、株価は利益に対して高いか低いかなど、財務諸表分析の基本を学ぶ。											
	iCDタスクコード		SP02.3.2									
授業形態	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				会計の用語を理解し、財務諸表の構造・読み方・分析が出来る。						
テキスト・教材 参考図書	・ビジネス会計検定試験3級テキスト／ビジネス会計検定試験3級問題集											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1-4	財務諸表 利用方法、会計の基本的プロセスと財務諸表分析・種類										
	5-8	貸借対照表 貸借対照表の様式・表示 資産の概念と分類、資産の金額					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	9-12	貸借対照表 負債の概念と分類、流動負債・固定負債 純資産の概念と分類、評価・換算差額等、新株予約権					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	13-16	損益計算書 5つの利益、利益の関係、損益計算書の様式 損益計算の3つのルール					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	17-20	損益計算書 売上総利益、営業利益、経常利益 税引前当期純利益、当期純利益					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	21-24	キャッシュフロー計算書 キャッシュの範囲、収益・費用とキャッシュフロー 貸借対照表・損益計算書との関係					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	25-28	キャッシュフロー計算書 しくみと読み方 財務諸表分析 財務諸表分析の関係者と対象情報					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	29-32	財務諸表分析 基本体系、分析結果の判断のための基準 基本分析					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	33-36	財務諸表分析 成長性および伸び率の分析 安全性の分析、支払能力を判定しよう					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	37-40	財務諸表分析 キャッシュフロー情報の利用 収益性の分析、利益を稼ぐ能力はどうか					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	41-44	財務諸表分析 1株当たり分析、株価は高いか低いかなど 1人当たり分析、労働効率はどうか					前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと					
	45-48	総合問題演習・解説					事前に総復習を行うこと					
	49-52	総合問題演習・解説					事前に総復習を行うこと					
	53-56	過去問題演習・解説					事前に総復習を行うこと					
	57-60	過去問題演習・解説					事前に総復習を行うこと					
評価方法	(1)定期試験(筆記試験)を実施する。(2)宿題を数回実施する。(3)課題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								60%
	宿題	○		◎				◎				20%
	課題							◎				20%
履修上の注意												

科目名	ネットビジネス						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	瑠璃垣 孝一	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	経営ビジネス科2年						
授業概要	Webを中心としたネットワークを活用して、売上の拡大(新規顧客の獲得、既存顧客の維持)、各種ブランディング、顧客満足度向上、業務の効率化など、自社と市場との関係(接点)を構築する「インターネット・マーケティング」に関する知識を習得する。サーティファイ社主催「ネットマーケティング検定」を目標検定とする。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					インターネットマーケティングについて概要を説明することができる	
	○					インターネットマーケティングに関する専門用語を理解し、説明することができる。	
	○					WEBに関する専門知識を理解し、説明することができる。	
	○					経営戦略に合わせたインターネットマーケティングについて説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	ネットマーケティング検定 公式テキスト / ネットマーケティング検定 過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	インターネットマーケティング概論					
	3-4	インターネット技術概論				テキスト第2章の内容を復習しておくこと	
	5-6	インターネットマーケティングの個別手法				テキスト第3章の内容を復習しておくこと	
	7-8	インターネットリサーチ				テキスト第4章の内容を復習しておくこと	
	9-10	PR・ブランディング				テキスト第5章の内容を復習しておくこと	
	11-12	広告				テキスト第6章の内容を復習しておくこと	
	13-14	インターネット販売				テキスト第7章の内容を復習しておくこと	
	15-16	効果測定				テキスト第8章の内容を復習しておくこと	
	17-18	外注管理				テキスト第9章の内容を復習しておくこと	
	19-20	各種ポリシー				テキスト第10章の内容を復習しておくこと	
	21-22	関連法規				テキスト第11章の内容を復習しておくこと	
	23-24	コンプライアンスとCSR				テキスト第12章の内容を復習しておくこと	
	25-26	過去問題					
	27-28	過去問題					
	29-30	過去問題					
	評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)授業態度・意欲を評価する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎					60%
小テスト		○					20%
授業態度・意欲					○		20%
履修上の注意	毎回授業で学んだ内容を復習しておくこと。						

科目名	教養Ⅱ									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		中村 里佳	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科2年									
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。論理的思考を養う数学を主教科、読解力を強化する為の国語を副教科とする。									
	iCDタスクコード									
授業形態	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					非言語能力問題(損益・仕事・鶴亀・速度等)ができる				
	○					言語能力問題(二語関係・文法・語句・長文理解)ができる				
テキスト・教材 参考図書	SPIクリア問題集(成美堂出版)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	損益算(原価、利益、定価の算出)、二語関係								
	2	損益算(原価、利益、定価の算出)、二語関係					損益算の復習をしておく			
	3	仕事算(単位量の捉え方)、二語関係								
	4	仕事算(単位量の捉え方)、文法					仕事算の復習をしておく			
	5	鶴亀算(連立方程式への導入)、文法								
	6	鶴亀算(連立方程式への導入)、語句の意味					鶴亀算の復習をしておく			
	7	速さ・時間・距離(公式の使い方)、語句の意味								
	8	速さ・時間・距離(公式の使い方)、短文の穴埋め					速さ・時間・距離問題の復習をしておく			
	9	場合の数(条件分けの理解)、短文の穴埋め								
	10	確率、文章整序								
	11	グラフの領域(式とグラフの識別)、文章整序								
	12	グラフの領域(式とグラフの識別)、空欄補充					グラフの問題を復習しておく			
	13	図表の読み取り、空欄補充								
	14	新傾向問題(思考力を養う実践的計算)								
	15	新傾向問題(思考力を養う長文読解)								
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		◎					60%		
	確認テスト		○					40%		
履修上の注意										

科目名	経営戦略Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	島田英也	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	経営ビジネス科2年						
授業概要	経営戦略Ⅰで学んだ経営戦略のフロー、戦略ドメイン、SWOT分析、アンゾフの成長ベクトル、プロダクトポートフォリオなどの経営戦略の基礎を元に、最近のトレンドな経営手法、損益分岐点分析、投資の経済性計算、事業計画の作り方、株式会社の設立手順を学び、卒業研究で行うビジネスプランコンテストや経営実践授業に役立てる。						
	iCDタスクコード		ST01.1.2、ST01.2.1、ST01.2.2、ST01.2.5				
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					最近の経営戦略手法が説明できる。	
		○				各業界の動向を元に、オリジナルのビジネスを企画立案できる。	
テキスト・教材 参考図書	「図解で分かる経営の基本 いちばん最初に読む本」、教員オリジナルPP						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス説明、経営戦略論応用「フリーミアム戦略の基礎」					
	2～3	経営戦略論応用「フリーミアム戦略の基礎」演習				前回の内容を復習しておくこと。	
	4	経営戦略論応用「サブスクリプション戦略の基礎」				前回の内容を復習しておくこと。	
	5～6	経営戦略論応用「サブスクリプション戦略の基礎」演習				前回の内容を復習しておくこと。	
	7～8	経営戦略論応用「ピクト図解の基礎」				前回の内容を復習しておくこと。	
	9～11	経営戦略論応用「ピクト図解の基礎」演習				前回の内容を復習しておくこと。	
	11～12	経営戦略論応用「デジタルトランスフォーメーションの基礎」				前回の内容を復習しておくこと。	
	13～14	経営戦略論応用「デジタルトランスフォーメーションの基礎」演習				前回の内容を復習しておくこと。	
	15	コーポレートガバナンス(企業支配)の基礎				前回の内容を復習しておくこと。	
	16～17	コーポレートガバナンス(企業支配)の演習				前回の内容を復習しておくこと。	
	18	事業計画書の作り方①				前回の内容を復習しておくこと。	
	19	事業計画書の作り方②				前回の内容を復習しておくこと。	
	20～29	オリジナルビジネスの企画・プレゼンテーション				前回の内容を復習しておくこと。	
	30	まとめ、振り返り				前回の内容を復習しておくこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。(3)取り組み態度を評価する。以上を以下の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	◎	◎				15%
	取り組み態度				◎		15%
履修上の注意							

科目名	ファイナンス									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		島田英也	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科2年									
授業概要	企業(起業)活動をする上でまず必要な会社設立の手続きや、資金調達の方法と特徴、設備投資を行う際の妥当性を判断する投資の経済性計算の方法を学ぶ。									
	iCDタスクコード		該当なし。							
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				株式会社の設立手順を説明できる。				
	○	○				資金調達方法の種類とその特徴を説明できる。				
	○	○				投資の経済計算の意味を理解し、説明できる。				
テキスト・教材 参考図書	日本政策金融公庫の融資活用ガイド									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	シラバスの説明、株式会社設立手順①								
	2	株式会社設立手順②(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	3	資金調達の種類と使い方①					前回の内容を復習しておくこと。			
	4	資金調達の種類と使い方②					前回の内容を復習しておくこと。			
	5	日本政策金融公庫の利用方法①					前回の内容を復習しておくこと。			
	6	日本政策金融公庫の利用方法②(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	7	日本政策金融公庫の利用方法③(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	8	銀行の利用方法					前回の内容を復習しておくこと。			
	9	クラウドファンディングの知識①					前回の内容を復習しておくこと。			
	10	クラウドファンディングの知識②(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	11	投資の経済性計算①					前回の内容を復習しておくこと。			
	12	投資の経済性計算②(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	13	投資の経済性計算③(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	14	投資の経済性計算④(振り返り演習)					前回の内容を復習しておくこと。			
	15	まとめ、振り返り					前回の内容を復習しておくこと。			
評価方法	(1)授業の中で小テストを複数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		◎	○				70%		
	小テスト		◎	○				30%		
履修上の注意										